

## 地区公民館建設事業進捗状況について

### 1 平成29年度事業について

- ・根城公民館 平成29年4月12日 供用開始  
平成29年7月4日から平成30年1月31日まで 旧公民館解体工事  
平成30年2月から平成30年5月まで 防火水槽建設工事
- ・是川公民館 平成30年2月28日 本棟工事請負契約一部変更契約専決処分済  
平成30年3月20日 建設工事完了

### 2. 平成30年度工事等予定について

- ・根城公民館 駐車場整備工事 工事期間 平成30年6月から平成30年9月まで
- ・是川公民館 平成30年4月17日 落成式実施予定  
平成30年4月18日 供用開始  
平成30年6月から平成30年9月まで 現公民館解体工事  
平成30年10月から平成30年12月まで 駐車場整備工事

(参考) 現公民館 鉄骨造二階建 延床面積 769.36 m<sup>2</sup>  
新公民館 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 911.87 m<sup>2</sup>

## 丹後平古墳群出土品重要文化財指定について

1. 文化財の種別 重要文化財（考古資料）

2. 名 称 あおもりけんたんごたいこふんぐんしゅつどひん  
青森県丹後平古墳群出土品 一括  
(別添一覧のとおり)

3. 所 有 者 八戸市（八戸市博物館保管）

### 4. 文化財の概要

丹後平古墳群は、青森県八戸市東白山台・南白山台にあり、飛鳥時代中頃から平安時代前期まで継続的に築造された古墳群である。

昭和62年（1987）から昭和63年（1988）、平成6年（1994）から平成10年（1998）、平成12年（2000）に八戸市が発掘調査を実施し、一部は平成11年（1999）に国史跡に指定されている。

指定品は、飛鳥時代から平安時代にかけて造られた、小規模な円墳や土坑墓どこうぼから出土した副葬品ぼぜんさいしや墓前祭祀に用いられた土器の一括。なかでも、朝鮮半島で作られたとみられる黄銅製の「金装獅嚙三累環頭大刀柄頭」そうしがみさんるいかんとうた ちつかがしらは国内で出土例がなく、貴重である。東北地方に特徴的に分布する蕨手刀わらびてとうや錫釧すずくしろ、多量の玉りつりょうせいなどもあり、律令制が直接及ばなかった北日本における社会や墓制の在り方を考える上で、価値が高い。

### 5. 今後の活用

八戸市博物館常設展示室及び収蔵庫において、展示・収蔵する。

主要な指定品は、平成30年4月17日～5月6日に東京国立博物館で展示され、6月1日以降に八戸市博物館での展示を予定している。

平成30年10月6日～11月4日に新指定記念秋季特別展「丹後平古墳群と蝦夷の世界（仮）」を開催する。

### 6. その他

写真資料（別添） 1. 主要遺物 2. 金装獅嚙三累環頭大刀柄頭 3. 刀  
4. 装身具

画像提供：1・3・4：八戸市教育委員会、2：青森県（小川忠博撮影）

## &lt;内訳&gt;

一. 金装獅嚙三累環頭大刀柄頭	1点
一. 金属製品	86点
ほうとうたち 方頭大刀・刀	6点
わらびてとう 蕨手刀	6点
鉄刀	8点
鉄鏃	27点
てつくつわ 鉄轡	4点
てつとうす 鉄刀子	7点
てつじょうし 鉄鑷子	1点
環状製品	14点
かたい 鉄銚帯金具	8点
かすがいがたかざりかなぐ 鍔形飾金具	1点
和同開珎残欠	1点
不明金属製品	3点
一. 玉	54点
こんどううつろたま 金銅空玉	3点
まがたま 石製勾玉	8点
くだたま 石製管玉	4点
きりこだま 水晶切子玉	7点
めのうなつめたま 瑪瑙棗玉	1点
とんぼだま 蜻蛉玉	1点
ガラス丸玉・小玉	20点
石製丸玉・不整形玉	4点
土製丸玉	6点
一. 土器・土製品	52点
つき 須恵器坏	4点
ちようけいへい 須恵器長頸瓶残欠	5点
たんけいこ 須恵器短頸壺	4点
かめ 須恵器甕	2点
よこべい 須恵器横瓶残欠	1点
たかつき 土師器高坏	5点
つき わん 土師器坏・埴	20点
土師器甕	8点
ぼうすいしゃ 紡錘車	2点
ボタン状土製品	1点
一. 石製品	2点
砥石	1点
紡錘車	1点

合計 195点